

Newsletter



NO. 82 1999. 5. 21

〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15 産能大学内 日本教育情報学会 運営本部事務局
Tel:03-5470-2370 Fax:03-5472-7299 インターネットアドレス <http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jsei>

日本教育情報学会 第15回年会のご案内

先にお知らせしましたように、本年度の年会は11月に国立オリンピック記念青少年総合センターを会場に開催いたします。本日、大会の概要と研究発表の応募に関する内容をお知らせいたします。

下記の要項をご熟読の上、期限内に手続きくださいますようお願いいたします。多数のご参加とご発表をお待ちしております。

期 日 1999年11月13日(土)・14日(日)

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

所在地 〒151-0062 東京都渋谷区代々木神園町3番1号 (Tel:03-3467-7201)

交 通 小田急線 参宮前駅下車 徒歩7分

地下鉄千代田線 代々木公園駅下車 徒歩10分

事務局 十文字学園女子大学 内 日本教育情報学会第15回年会実行委員会

日 程

11月13日(土)		11月14日(日)	
9:30~12:00	研究発表	9:30~12:00	研究発表
12:00~13:00	昼 食	12:00~13:00	昼 食
13:00~13:40	総 会	13:00~15:00	研究発表
	学会賞表彰式	15:10~17:00	パネル討論
14:00~15:30	シンポジウム		
15:40~17:50	研究発表		
18:00~19:30	懇親会		

(1) シンポジウム

テーマ 「通信ネットワークを教育にどう活用すればよいか」

2001年には全公立学校がインターネットにつながれる可能性が高まっており、今までも各所でインターネット等の教育での活用が研究されています。しかし、実際の教育でのインターネット等の活用となるとすでに様々な問題点が出てきています。これらの問題点と解決策を含んで、具体的な取り組み例、将来計画などについて議論したいと思い、テーマを設定しました。

(2) パネル討論

テーマ 「新しい時代の生涯学習情報の利用」

これからの生涯学習を活発にするために、生涯学習施設において生涯学習情報を蓄積管理する動きが活発になり、そのコンテンツが充実してきています。

これらの情報を有効に利用するためには、各所にあるコンテンツを相互に利用することができることが重要である。

様々なところで蓄積されている学習情報を学校や生涯学習施設等で共通利用するための、各種の問題点や共通利用の方向性などについて議論するために設定しました。

(3) 課題研究テーマ

課題1. 「総合学習における情報教育の取り組み」

新指導要領での「総合的な学習」の中で情報教育をどのように位置づけ、なぜ情報教育を行うのか、情報教育は必要なのか、必要であるならその理由は何なのか、今までの情報教育での「ワープロ・表計算・データベース」の三種の神器でいいのかという議論は続いています。これを打ち破るべき特色ある情報教育も各地で行われていることも事実です。このような実践を集めて議論したいと思います。

課題2. 「地域ネットワークの活用」

各県、各地域において様々な地域ネットワークの構築の計画が着々と進んでおります。各所のネットワークを各学校・家庭等と結び、教育にどのように利用するか、これによって何を目指し、何が成果として残るであろうか、その実際の問題点を含めて議論したいと思います。

課題3. 「生涯学習情報提供の現状」

国立オリンピック記念青少年総合センター、国立婦人教育会館をはじめとして、各県の生涯学習施設において生涯学習情報提供システムが各所で構築されている。

それらの学習情報の構造等についての問題点について報告し、生涯学習情報提供の現状と問題点について議論したいと思います。

課題4. 「遠隔学習・授業」

大学間での人工衛星を使った授業はすでに行われおり、テレビ会議システム、インターネットを使った遠隔授業などの技術革新も進んでいます。これらを用いて学習や授業がどのように変わるのか、価値ある結果が生まれるのか、問題点は何か等を議論したと考えます。

課題5. 「インターネットと授業」

各学校がインターネットにつながれる時代になってきています。しかし、実際の授業でのインターネットの活用となるとすでに様々な問題点が出てきています。これらの問題点と解決策を含んで、具体的な取り組み例、将来計画などの応募を望んでおります。

課題6.「マルチメディア教材の開発」

各学校等にマルチメディアに対応したパソコン等が充実してきていることや、新しい学習指導要領に対応した教育を行うためにはマルチメディア教材の開発や利用が重要になってきています。そこで、マルチメディア教材の開発事例や授業での利用方法についての事例を報告し、新しい時代に対応したマルチメディア教材の開発について議論したいと思います。

(4) 一般研究発表

1) 発表申込者 会員及び会員に準ずるもの。

2) 発表分野

- ① 本会定款第4条(目的)にあるように、「教育情報に関する研究」であれば、特に内容は問いません。教育情報は大きくみて、教育に関する情報と情報に関する教育が含まれます。
- ② これまでの発表セッションは次のとおりです。

教育情報一般、データベース、マルチメディア、メディア、教育用ソフト一般、学習ソフト開発、教材開発、情報システム開発、情報教育、情報処理教育、ツールソフト利用教育、シミュレーション学習、情報検索教育、教育用ソフトウェア、教育情報ネットワーク、ヒューマンインターフェース、インターネット、パソコン通信、学習評価、授業分析

3) 発表申し込み関係スケジュール

- ① 発表申込締切 1999年 7月 9日(金)
- ② 発表決定通知 1999年 7月17日(土)
- ③ 論文提出締切 1999年10月 2日(土)

いずれも締切日必着でお願いします。

4) 発表申込方法

- ① 「年会一般研究申込書」に必要事項を記入の上、申込締切日(7月9日)までに、第15回年会実行委員会事務局(後記)へ送付してください。
- ② 研究発表会場で口頭発表できるのは、会員1人について一般研究1件だけです。口頭発表する会員を、申込書の「講演者」の欄に書いてください。

5) 申込書の書き方

- ① 年会一般研究発表申込書は、一般研究発表1件について1枚とします。
- ② 講演者とは、研究発表会場で口頭発表をする会員です。
- ③ 共同研究者は何人でもかまいません。
- ④ 概要はなるべく詳細に書いてください。
- ⑤ キーワードとして、前記発表セッション名の中から数語を含めて10語以内を選んでください。
- ⑥ 会場で使用できる機器は、書画カメラまたはOHP(教室による)とVTRです。パソコンは会場に用意できませんので、使用する場合は持参する機器の欄に記入してください。

6) 発表者への連絡

- ① 発表者には、7月17日頃発表の可否を連絡します。
- ② 発表を可とされた申込者に対しては、論文の執筆要項をお送りします。
- ③ 論文の原稿枚数は2枚または4枚とします。原稿は「年会論文集」の版下の形で、ワープロ出力したものを提出していただきます。

(5) 課題研究発表

1) 課題研究は前記(3)のテーマにより各分野から発表していただく予定です。

2) 課題研究の審査

①課題研究発表は、各テーマごとに担当コーディネータが発表概要を詳細に検討し、発表の可否について審査します。

②発表の可否は、発表内容だけでなく、全体の発表件数を考慮して決定しますので、発表否となる場合もあることをご了承ください。

③課題研究として発表できない場合には、一般研究を別に申し込んでいても課題研究分を一般研究発表として発表していただくことができます。

3) 課題研究の申込方法

①年会課題研究発表申込書(同封の申込用紙左側)に必要事項を記入の上、申込締切日(7月9日)までに、第15回年会実行委員会事務局へ送付してください。

②他の事項は、前述の一般研究発表申込方法、申込書の書き方、発表者への連絡を参考にしてください。なお、記入の際に課題研究テーマ番号を該当欄に明記してください。

(6) 参加費

・会員の予約の場合

参加費 3,000円 資料代 3,000円 懇親会費 4,000円

・会員の当日の参加、または会員外

参加費 4,000円 資料代 3,000円 懇親会費 4,000円

(今回は、発表申込みのみです。参加申込みは後日行います。(7月予定))

※ 会員でない方々(小・中・高校・専門学校の先生方、企業の方々など)も会員に準じて発表できるようにする方法をとる予定ですので、ご希望の方は年会事務局へご連絡ください。

(7) 宿泊について

国立オリンピック記念青少年総合センターでの宿泊を希望される方は、事務局で一括して宿泊申込みをします。参加申込みを受付ける時に、合わせてお申込みください。

(1泊4,300円, 3食1,820円)

発表申込書送付先・問い合わせ先

送付先: 〒352-8510 埼玉県新座市菅沢 2-1-28 十文字学園女子大学 内

日本教育情報学会 第15回年会実行委員会事務局 宛

TEL 048-477-0555 (代)

問い合わせ先: 若山皖一郎 (wakayama@jumonji-u.ac.jp),